

① 野上 智② 株式会社エクステンド③ 2022年度④ 中小企業の経営力強化をサポートする仕事柄アントレプレナーシップにも興味があったことから⑤ 大学で授業をするだけでなく、学生との交流を持ちたい。最初は教員の手伝いから始めて、教員という職業について学びたいと考えている。そのため仕事を通じて出会った人に積極的に声をかけて、関係を築いている。



多彩な受講仲間と学び合い、 授業後は飲食店で論戦

わたしは中小企業の経営力強化をサポートする機関で働いています。仕事柄アントレプレナーシップにも興味があり、新聞で募集広告を見た瞬間に応募を決めました。

はじめはアントレプレナーシップを、「新しくビジネスを興すチャレンジ精神」のようにイメージしていました。しかし、学ぶうちにスモールビジネスとスタートアップは別物であることを理解しました。スモールビジネスは既存のマーケットで既存のビジネスモデルを踏襲しますが、スタートアップが手掛けるのは今までにない全く新しいビジネスモデルであり、0から1を生み出すイノベーションなのです。

本コースで得た財産は数え切れませんが、特筆すべきは共に学んだ仲間との出会いです。銀行家からスタート起業家までさまざまな人が集まっており、専門科目の講義後は飲食店に移動してその日の課題などを皆で議論しました。まるで2限目の自主ゼミといった感じです。それぞれの立場からの視点や意見に触れることができ、とても刺激的でした。

① 鳥越 克裕② 電機メーカー勤務③ 2022年度④ 勤務先での幹部候補やグローバル人材の育成に携わった経験から、後進の育成についてもっと追求したいと思っていたから⑤ 本コースで得た知見や大学とのご縁を生かして、産学連携に取り組んでみたいと思う。

イノベーションを目指し、 人を育て、仕組みをつくる

受講のきっかけは、勤務先での幹部候補やグローバル人材の育成に携わった経験から、かねてから後進の育成についてもっと追求したいと思っていたこと。他国に比べてイノベーションが起きにくい日本の現状に危機感を持っており、人材育成にはアントレプレナーシップの知見が欠かせないと意を決しました。

個性豊かな教授陣が本コースの大きな魅力のひとつでしょう。現場の第一線で活躍されている鐘ヶ江先生と広瀬先生というタイプの違う師が在籍されているのがユニークです。鐘ヶ江先生がMOT(技術経営)に関する手法についてケーススタディを通じて分りやすく教えてくださる一方、広瀬先生はこちらの固定観念を打ち砕く授業をされ、どちらも大変刺激的でした。また広瀬先生の授業ではいつも「問われて、思考し、すぐ答えを出す」ことが求められるので、久しぶりに脳に心地よい汗をかくことができました。今後は本コースで得た知見や大学とのご縁を生かし、産学連携に取り組んでみたいと考えています。

